

令和5年度 第3回 朝来市地域包括ケアシステム推進会議 次 第

日 時：令和5年11月8日（水）13:30～15:00
場 所：和田山生涯学習センター第1研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事 （進行：会長）

(1) 令和5年度の活動予定 資料1

(2) 地域ケア会議の体制デザイン図の変更について 資料2

(3) お宝見える化マップ（支え合い実践集）について 資料3

(4) 第9期介護保険事業計画（地域包括ケアシステム推進部分）策定について 資料4

① 地域包括ケアシステム推進部分について

4 閉 会

次回 令和6年3月 日（ ）

令和5年度 地域包括ケアシステム推進会議委員 名簿

2023/04/01 (アイウエオ順)

№	団体名等	所属	職名等	氏名
1	ケアマネジメント支援会議委員	いきいき介護センター (朝来市ケアマネジャー協会)	主任介護支援専門員	足立 陽子
2	在宅医療・介護連携会議委員	薬剤師会朝来支部	朝来ブロック長	柿沼 亘
3	朝来市民生委員児童委員連合会	民生委員児童委員	民生委員児童委員	小島 茂幸
4	但馬長寿の郷	但馬長寿の郷	地域ケア課長	小森 昌彦
5	地域づくり・生活支援コーディネーター	朝来市社会福祉協議会	生活支援コーディネーター	須磨 正彦 (副会長)
6	ボランティア団体	あさごいきいき百歳体操	あさごいきいき百歳体操	田中 和子
7	脳耕会委員	緑風の郷	主任介護支援専門員	谷口 更武
8	認知症疾患医療センター	大植病院	公認心理師	中山 隆人(会長)
9	朝来健康福祉事務所	朝来健康福祉事務所	健康参事・保健師	濱田 圭子
10	介護保険事業計画審議会委員	被保険者	被保険者	前田 恵利
11	朝来市医師会	馬庭内科医院	医師	馬庭 幸二

12	健康福祉部	健康福祉部	部長	笠垣 和幸	
13		ふくし相談支援課 (朝来市地域包括支援センター)	課長	馬袋真理子	
14			主任介護支援専門員	足立 里江	
15			社会福祉士	藤原 正浩	
16			保健師	田路 遥	
17			社会福祉士	小畑 知見	
18			看護師	北野 留美	
19			高年福祉課	課長	大石 哲也
20				副課長	加茂川裕子
21		いくの喜楽苑	生野地域包括支援センター	主任介護支援専門員	北川 慎一

地域包括ケアシステム推進会議任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

◎ 令和 5 年度地域包括ケアシステム推進会議 活動スケジュール

	開催月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
の各 運地 管域 ・ケ 管ア 理会 議	令和4年度の報告		➡									
	令和5年度の計画		➡									
	各会議体実施	➡										まとめ
	体制デザインの変更		➡					デザイン確定				
ス計介 テ画護 ムケ保 部險 分事 シ業	目標設定		➡									
	具体策				➡							
	まとめ					➡	意見聴取					

◎ 朝来市地域包括ケアシステム推進会議の運営について

項目	内容
会議種類	懇談会（朝来市附属機関等の設置及び運営に関する指針より）
目的	高齢者が住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、生活支援等を包括的かつ継続的に提供する体制の構築のための協議等を行う。（朝来市地域包括ケアシステム推進会議要綱より）
委員数と任期	委員15人以内で構成・任期は2年
運営方法	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 傍聴席を設け、議事録を公開する。 ◎ それぞれの委員の意見を聞くのみで行政機関としての意思の決は行わない ◎ テーマにより、ワークショップ等で意見を聴取する
令和5年度の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 各会議体の進捗状況の共有 2 第9期介護保険事業計画策定審議会への提案（地域包括ケアシステム推進部分）

朝来市地域ケア会議の体制デザイン図について アンケートまとめ

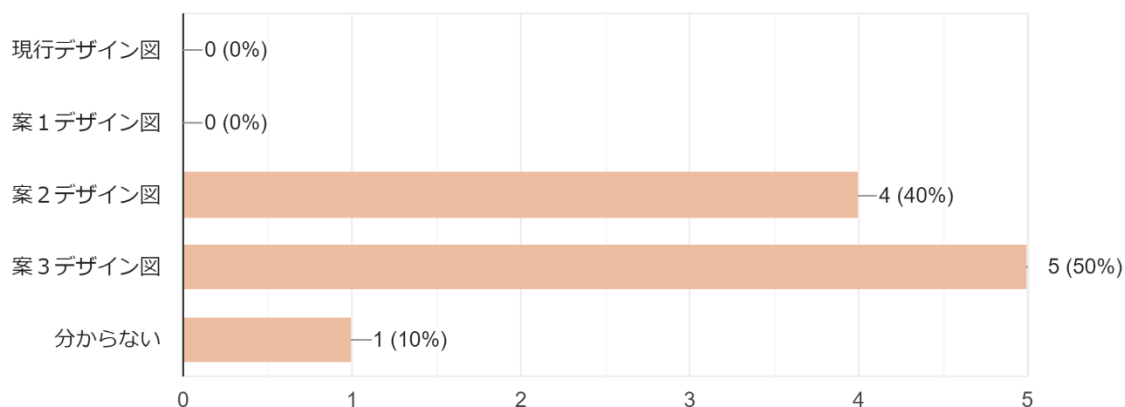
デザイン図	アンケートのコメント
<p>●現行デザイン図について</p> <p>朝来市地域ケア会議体制デザイン（2021年1月更新）</p>	<ol style="list-style-type: none"> ワーキングばかり増えてしまい、動きにくい ④の後に複数の作業部会がぶら下がると機能不全を起こすのでは？と感じている。
<p>●案1 デザイン図について</p> <p>朝来市地域ケア会議体制デザイン（2023年7月提案）</p> <p>案1</p>	<ol style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携会議がなくなってしまった 専門職からの問題提起がほとんどできない状態になるのではと危惧します ワーキング部会での成果物の評価が不安。評価にはある程度時間がかかるため本会議でそこまでできるか疑問が残る。
<p>●案2 デザイン図について</p> <p>朝来市地域ケア会議体制デザイン（2023年9月提案）</p> <p>案2</p>	<ol style="list-style-type: none"> 事務局会議が増えただけで動きにくさは同様

理しきれません。

12. 「市としての意向やビジョンがわかりにくい」といった意見も聞かれます。

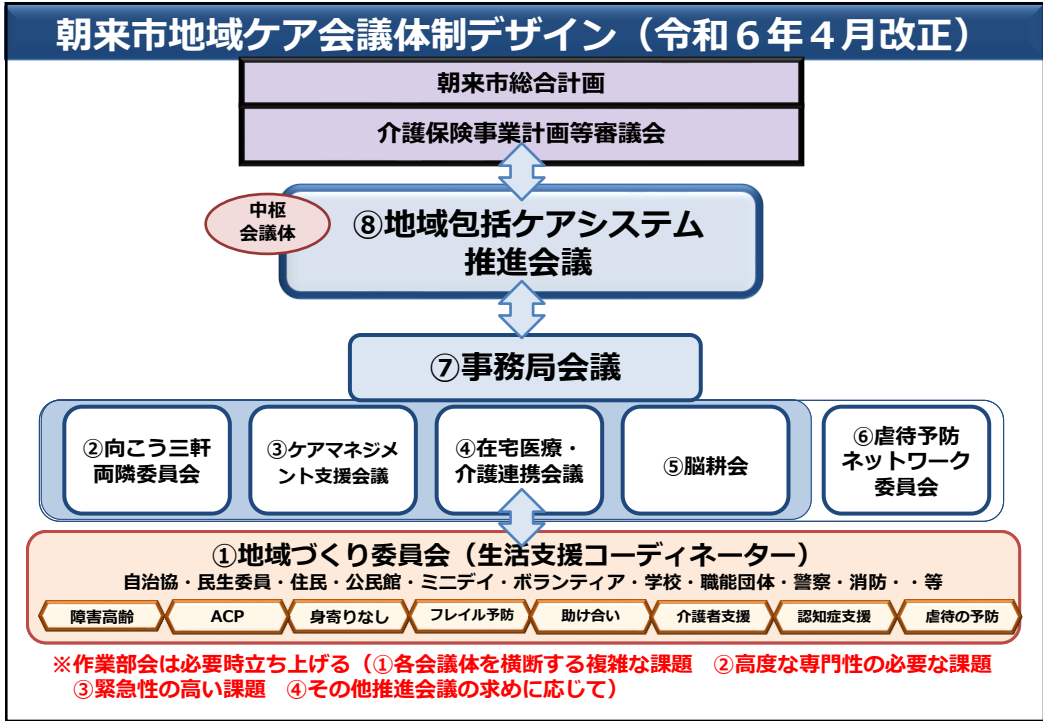
現行デザイン・案1～3のうち、どの体制デザイン図がよいと思われますか？

10件の回答



●地域ケア会議の運営等についてご意見等あればご記入ください

1. 人手がないので、できるだけ会議を増やさない
2. 案2の内、③④の下に記載の作業部会を削除。(システム図には不要) 前回の会議の中で意見が沢山出ており、再度アンケートを採る必要があるのか。
3. 地域ケア会議の運営については、各会議や通常業務、住民の声から課題と思われることをしっかり事務局でまとめた上で、会議に提案していただきたい。課題をまとめるためのワーキングは不要ではないか。
4. 事務局の負担が大きくなっており、特に専門職種の会議ではある程度会議責任者に任せてオペレータ的な役割でもよいのではと思います。
5. 各会議に出席している委員の役割が薄く、傍観者になって、参加するだけの会議多くなっているのが危惧されます。
6. 現行の仕組みに事務局の調整力が強化されたらありがたい。
7. 懇談会の位置づけの会議であれば、事務局がある程度決めたらよいと思います。
8. ワールドカフェ方式は楽しく話し合いができましたが、まとまりづらく、発表聞いていても同じような内容に聞こえました。印象に残りにくいような気がしました。



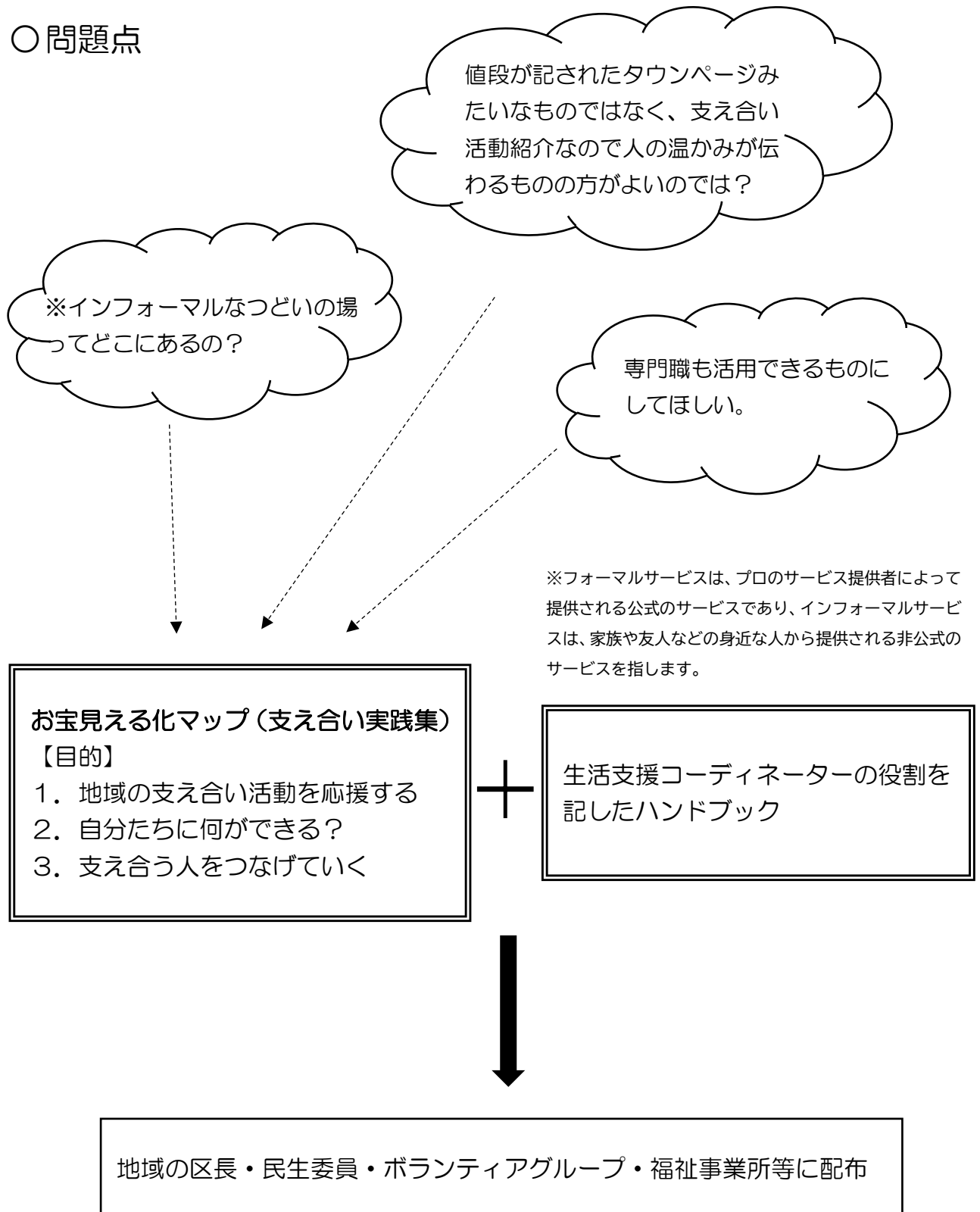
新各会議体の役割（令和6年4月改正）

会議名	開催回数	特徴	相互の関連性
①地域づくり委員会	年10回程度	住民主体の活動をサポートすることにより、支えあうことのできる地域づくりを推進する。生活支援コーディネーターの立場から見えた地域の課題や、地域の力を抽出する。	①～⑥は、次のA～Dを行う
②向こう三軒両隣委員会	適宜	年間60～80回の向こう三軒両隣会議を集約し、多くの対象者が抱える共通の課題や、ネットワーク・支援体制づくりの効果を抽出する。	A ネットワーク・連携づくり・研修会
③ケアマネジメント支援会議	適宜	年間30～40回のケアマネジメント支援会議を集約し、多くの対象者が抱える共通の課題や、ネットワーク・支援体制づくりの効果を抽出する。	B 地域の強みやできているところを見出す
④在宅医療・介護連携会議	適宜	医療・介護の現場からの意見、事例検討等から、多くの対象者が抱える共通の課題や、ネットワーク・支援体制づくりの効果を抽出する。	C 日々の連携や個別事例への対応から地域課題を見出す
⑤脳耕会	適宜	認知症支援施策への意見、認知症事例等の検討・集約から、多くの対象者が抱える共通の課題や、ネットワーク・支援体制づくりの効果を抽出する。	D B,Cの地域課題を⑦事務局会議へ報告する。
⑥虐待予防ネットワーク委員会	年1回程度	虐待事例の検討・集約から、多くの対象者が抱える共通の課題や、ネットワーク・支援体制づくりの効果を抽出する。	
⑦事務局会議	年2回程度	①～⑥からの報告を受け、朝来市の地域課題の整理と優先順位づけを行う。検討すべき地域課題を明確にし、⑧地域包括ケアシステム推進会議へ報告する。	①～⑥からの報告を集約し、地域課題や支援体制づくりを明確にした後、⑧に報告する。
⑧地域包括ケアシステム推進会議	年2回程度	⑦からの報告を受け、朝来市地域課題に対する資源開発の必要性や、支援体制づくりの効果について検討する。調査や資源開発が必要な場合は、立ち上げ指示や運営管理を行う。	⑦からの報告を受けて協議したのち、⑦へ資源開発の指示を出す。
※作業部会	適宜	必要時立ち上げ。各会議体を横断する複雑な課題、高度な専門性の必要な課題、緊急性の高い課題、または推進会議の求めに応じて招集する	ワーキングの立ち上げ判断は⑦あるいは⑧で行う

《 生活支援コーディネーターの役割 》

地域に元々備わっている力を発見し、それを引き出すことで、より暮らしやすい地域づくりにつなげることです。

○問題点



R6 年度生活支援 CO 活動計画（案）

① 広報

お宝見える化マップ（支え合い実践集）に掲載させていただく団体・事業所等を決める。

- ・市と社協の広報誌でエントリー案内する。（R6.5）
エントリーされる方は、掲載するQRコードからグーグルフォームに入り、活動内容、対象者、活動日、活動時間、問い合わせ先を入力し送っていただく。訪問の希望があれば、訪問する。
- ・商工会・ミニデイグループ・いきいき百歳体操実施グループには、文書を送る。（R6.6）

② 説明会（R6.9）

プログラムは要検討。

説明会の中で、『登録カードの書き方』を伝える。

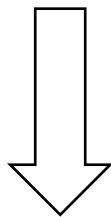
説明会に来られた方は、朝来市のお宝！！

地域の現状や支え合い活動に対する思い等を教えてもらう会とする。

③ 登録カードの集計（R6.10）

内容を精査する。

④ 冊子の印刷（R6.11～12）



⑤ R7 年度～ 登録者へのサポート・新規登録の受付